



# 東京工芸大学大学院 工学研究科

## 秋季入学について

秋季入学は、大学院の後期（9月中旬より）から大学院生となる制度です。修了は通常、前期終了時（9月中旬）となります。

出願資格に該当する方であれば、どなたでも受験することができますが、特に、企業等に所属して働いている方や外国人留学生の方で、なるべく空白期間をつくらずに入学したいという方に向けています。

選考方法及び試験科目は4月入学の入学試験と同様です。

2021年度 秋季入学  
学生募集要項

# 建学の精神

「時勢ノ必要ニ應ズベキ寫眞術ノ實技家及研究者ヲ養成シ併セテ一般社會ニ於ケル寫眞術ノ向上發達ヲ圖ル」（1923年（大正12年）財団法人 小西寫眞専門学校）

## 東京工芸大学の理念

東京工芸大学の前身は、1923年（大正12年）に設立された、財団法人 小西寫眞専門学校です。小西寫眞専門学校は、小西本店（現在のコニカミノルタ株式会社）代表の七代 杉浦六右衛門が創立した旧制専門学校で、創立者の父で小西本店創始者の六代 杉浦六右衛門が提唱していた「時勢の必要に  
応すべき写真術の実技家及び研究者を養成し、併せて一般社会における写真術の向上発達を図る」という理想と遺志を後継し実現するために設立されました。また、初代校長、結城林蔵は、「学理及び技術に通じたゼントルマンを養成する」という教育理念を掲げておりました。

すなわち本学は、こうした創設者の建学の精神と初代校長の教育理念の下に、当時の最先端メディアの一つである写真を広く社会に普及させること、ならびにそれをリードする教養と人徳を備えた人材の育成を目的としていたのです。

さらに本学は、その創立当初から写真技術（テクノロジー）と写真表現（アート）の融合を目指していた先駆的な学校でした。「テクノロジーとアートの融合」、それは今後の社会においても、これまでとは全く違う新しい製品やサービス、文化を創出し、社会をそして人々の生活をも大きく変革する力を秘めています。

本学は、建学の精神を継承しつつ、科学技術の進歩や社会の要請に応じて、数多くの卒業生を社会に送り出すとともに、工学部と芸術学部で構成される本学の特色を生かし、先端テクノロジーとアートの融合を推進するユニークな高等教育機関としてその活動を展開しています。

2023年に創立100周年を迎える東京工芸大学では、創立者や初代校長の思いと大学の歴史の中で脈々と受け継がれてきた教育研究活動のエッセンスを汲み取り、現在の東京工芸大学の全員が持つべき理念として、従来の大学の基本理念を再定義し、以下のとおり「東京工芸大学の理念」を新たに制定しました。

東京工芸大学は、

- ・テクノロジーとアートの融合を推進し、新たな価値を創造します。
- ・常に学生の知識・教養・人格の向上に努めます。
- ・人々のために、社会の発展のために貢献します。

## 東京工芸大学大学院工学研究科の目的

東京工芸大学大学院は、工学と芸術学に関する学術の理論及び応用を研究し、その深奥を究めることにより、文化の進展に寄与することをその趣旨としています。そのため、工学研究科においては、時代や社会が求める最先端の技術と高度な専門知識を教授し、その向上・拡張を目指すだけでなく、独自の新規技術を生み出す創造力豊かな技術者・研究者の育成を目的としています。具体的には、以下のような人材の養成を目指します。

（博士前期課程）

1. 深い知識と柔軟な適応性を有する人材
2. 自らの研究領域に留まらず、それを包含する広い学問分野を捉える複眼的素養を持った人材

（博士後期課程）

博士前期課程での修練を基礎とし、さらに下記の能力を備えた人材の養成を目指します。

1. 自立的さらには指導的に研究活動に携わることのできる人材
2. 高い創造性と国際的にも通用する高度なコミュニケーション能力を有する人材

# 工学研究科のアドミッション・ポリシー

## （博士前期課程）

工学研究科博士前期課程では、メディア工学、工業化学、建築学・風工学及び電子情報工学の各技術分野を通して、広く社会に貢献できる、先進性と独創性に富んだ人材の育成を目標とします。本研究科の定める博士前期課程出願資格の要件を満たし、以下の項目を修得したい人を受け入れます。

1. メディア工学、工業化学、建築学・風工学及び電子情報工学のいずれかの技術分野に関する高度な専門的知識・技術を身につけ、それらの妥当性を理論的に説明し、議論する能力を身に付けた人。そのために志願者にはメディア工学、工業化学、建築学・風工学及び電子情報工学（関連分野を含む）のいずれかの技術分野に関して大卒者に相当する専門知識を有していることが求められ、学力試験、出身大学の調査書、及び面接試験によりこれを確認します。
2. 研究・開発を進めるにあたり、問題点・課題を的確に抽出する能力、及び問題の具体的解決方法を見出す能力を身に付けたい人。そのために志願者には大学の卒業研究、または相当する知識・経験が求められ、面接試験によりこれを確認します。
3. 上記知識・技術及び問題発見・解決能力を、与えられた状況に応じて、的確に活用・応用できる能力を身に付けたい人。そのために志願者には原著論文を読みこなし、国際会議、欧文誌等で研究成果を発表するための外国語の素養と論理的な思考力が求められ、外国語試験及び面接試験によりこれを確認します。
4. 科学技術を進歩・発展させるための幅広い見識と健全な倫理観を有する人材となって、社会で活躍したい人。そのために志願者には大卒者に相当する見識と倫理観が求められ、面接試験によりこれを確認します。

## （博士後期課程）

工学研究科博士後期課程では、メディア工学、工業化学、建築学・風工学及び電子情報工学の各技術分野を通して、広く社会に貢献でき、かつ高度な専門性と高い自立性に富んだ人材の育成を目標としています。本研究科の定める博士後期課程出願資格の要件を満たし、以下に示す資質と能力を修得したい人を受け入れます。

1. 社会一般を背景にした問題認識・抽出能力を有していること、及び課題の社会的、学術的価値を的確に評価できる能力を身に付けたい人。
2. 専門分野における高度な学識を有し、かつ必要に応じて他分野の知見を自ら修得できる能力を身に付けたい人。
3. 問題解決のために、既往の理論体系との位置づけを明確にした新たな理論を構築する能力を身に付けたい人。
4. 問題解決に必要なコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、及び語学力を有する人材を目指す人。
5. 高度な研究内容に即した適切な倫理観を有する人材となって、社会で活躍したい人。

# 各専攻・課程のアドミッション・ポリシー

## （メディア工学専攻 博士前期課程）

メディア工学専攻博士前期課程では、メディア情報、メディアシステムの各専門分野において、メディア技術に関する高度な専門知識を有し、技術を応用することのできる人材の育成を目標とします。本専攻の定める博士前期課程出願資格の要件を満たし、以下の項目を修得したい人を受け入れます。

1. メディア情報分野、メディアシステム分野のいずれかの専門分野に関する高度な専門的知識・技術を身につけ、それらの妥当性を理論的に説明し、議論する能力を身に付けたい人。そのために志願者にはメディア工学（関連分野を含む）の技術分野に関して大卒者に相当する専門知識を有していることが求められ、学力試験、出身大学の調査書、及び面接試験によりこれを確認します。
2. メディア工学分野における研究・開発を進めるにあたり、問題点・課題を的確に抽出する能力、及び問題の具体的解決方法を見出す能力を身に付けたい人。そのために志願者には大学の卒業研究、または相当する知識・経験が求められ、面接試験によりこれを確認します。
3. メディア工学分野における知識・技術及び問題発見・解決能力を、与えられた状況に応じて、的確に活用・応用できる能力を身に付けたい人。そのために志願者には原著論文を読みこなし、国際会議、欧文誌等で研究成果を発表するための外国語の素養と論理的な思考力が求められ、外国語試験及び面接試験によりこれを確認します。
4. 科学技術を進歩・発展させるための幅広い見識と健全な倫理観を有する人材となつて、社会で活躍したい人。そのために志願者には大卒者に相当する見識と倫理観が求められ、面接試験によりこれを確認します。

## （メディア工学専攻 博士後期課程）

メディア工学専攻博士後期課程では、メディア情報、メディアシステムの専門分野において、先端の画像工学および、光工学の高度な技術を駆使することによって、新たな情報システムを構築し、社会を担って行くことのできる人材の育成を目標としています。本専攻の定める博士後期課程出願資格の要件を満たし、以下に示す能力を修得したい人を受け入れます。

1. メディア工学分野における社会一般を背景にした問題認識・抽出能力を有していること、及び課題の社会的、学術的価値を的確に評価できる能力を身に付けたい人。
2. メディア情報、メディアシステムのいずれかの専門分野における高度な学識を有し、かつ必要に応じて他分野の知見を自ら修得できる能力を身に付けたい人。
3. メディア工学分野における問題解決のために、既往の理論体系との位置づけを明確にした新たな理論を構築する能力を身に付けたい人。
4. メディア工学分野の研究者に求められる問題解決に必要なコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、及び語学力を有する人材を目指す人。
5. メディア工学分野における高度な研究内容に即した適切な倫理観を有する人材となつて、社会で活躍したい人。

## （工業化学専攻 博士前期課程）

工業化学専攻博士前期課程では、環境エネルギー化学、有機材料化学の専門分野において、生命、医療、環境、電子情報などの分野を中心とした社会のニーズに応え、柔軟な思考と高度な専門知識を身に付けた研究者・技術者の育成を目標とします。本専攻の定める博士前期課程出願資格の要件を満たし、以下の項目を修得したい人を受け入れます。

1. 環境エネルギー化学、有機材料化学のいずれかの専門分野に関する高度な専門的知識・技術を身につけ、それらの妥当性を理論的に説明し、議論する能力を身に付けたい人。そのために志願者には工業化学（関連分野を含む）の技術分野に関して大卒者に相当する専門知識を有していることが求められ、学力試験、出身大学の調査書、及び面接試験によりこれを確認します。
2. 工業化学分野における研究・開発を進めるにあたり、問題点・課題を的確に抽出する能力、及び問題の具体的解決方法を見出す能力を身に付けたい人。そのために志願者には大学の卒業研究、または相当する知識・経験が求められ、面接試験によりこれを確認します。
3. 工業化学分野における知識・技術及び問題発見・解決能力を、与えられた状況に応じて、的確に活用・応用できる能力を身に付けたい人。そのために志願者には原著論文を読みこなし、国際会議、欧文誌等で研究成果を発表するための外国語の素養と論理的な思考力が求められ、外国語試験及び面接試験によりこれを確認します。
4. 科学技術を進歩・発展させるための幅広い見識と健全な倫理観を有する人材となつて、社会で活躍したい人。そのために志願者には大卒者に相当する見識と倫理観が求められ、面接試験によりこれを確認します。

## （工業化学専攻 博士後期課程）

工業化学専攻博士後期課程では、環境エネルギー化学、有機材料化学の専門分野において、現代社会の問題点や将来の課題を明確に捉え、洗練された発想力と最も高度な専門知識を身に付けてグローバルに活躍できる研究者の育成を目標としています。本専攻の定める博士後期課程出願資格の要件を満たし、以下に示す能力を修得したい人を受け入れます。

1. 工業化学分野における社会一般を背景にした問題認識・抽出能力を有していること、及び課題の社会的、学術的価値を的確に評価できる能力を身に付けたい人。
2. 環境エネルギー化学、有機材料化学のいずれかの専門分野における高度な学識を有し、かつ必要に応じて他分野の知見を自ら修得できる能力を身に付けたい人。
3. 工業化学分野における問題解決のために、既往の理論体系との位置づけを明確にした新たな理論を構築する能力を身に付けたい人。
4. 工業化学分野の研究者に求められる問題解決に必要なコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、及び語学力を有する人材を目指す人。
5. 工業化学分野における高度な研究内容に即した適切な倫理観を有する人材となつて、社会で活躍したい人。

(建築学・風工学専攻 博士前期課程)

建築学・風工学専攻博士前期課程では、建築と都市に関するハイレベルな講義科目と研究指導による、高度な専門技術と最新の専門知識を身に付けた技術者や研究者の育成を目標とします。本専攻の定める博士前期課程出願資格の要件を満たし、以下の項目を修得したい人を受け入れます。

1. 建築構造学、構法・建築史、建築設計計画、建築環境工学のいずれかの専門分野に関する高度な専門的知識・技術を身につけ、それらの妥当性を理論的に説明し、議論する能力を身に付けたい人。そのために志願者には建築学または風工学（関連分野を含む）の技術分野に関して大卒者に相当する専門知識を有していることが求められ、学力試験、出身大学の調査書、及び面接試験によりこれを確認します。
2. 建築学・風工学分野における研究・開発を進めるにあたり、問題点・課題を的確に抽出する能力、及び問題の具体的解決方法を見出す能力を身に付けたい人。そのために志願者には大学の卒業研究、または相当する知識・経験が求められ、面接試験によりこれを確認します。
3. 建築学・風工学分野における知識・技術及び問題発見・解決能力を、与えられた状況に応じて、的確に活用・応用できる能力を身に付けたい人。そのために志願者には原著論文を読みこなし、国際会議、欧文誌等で研究成果を発表するための外国語の素養と論理的な思考力が求められ、外国語試験及び面接試験によりこれを確認します。
4. 科学技術を進歩・発展させるための幅広い見識と健全な倫理観を有する人材となつて、社会で活躍したい人。そのために志願者には大卒者に相当する見識と倫理観が求められ、面接試験によりこれを確認します。

(建築学・風工学専攻 博士後期課程)

建築学・風工学専攻博士後期課程では、博士前期課程における4つの専門分野（建築構造学、構法・建築史、建築設計計画、建築環境工学）を、ハードの工学である「建築構造工学」と、ソフトの工学である「建築計画学」の2つの研究分野に統合しています。これらの研究分野において高度な専門知識とその周辺知識を修得し、広く社会に貢献でき、かつ高度な専門性と高い自立性に富んだ人材の育成を目標としています。本専攻の定める博士後期課程出願資格の要件を満たし、以下に示す能力を修得したい人を受け入れます。

1. 建築学・風工学分野における社会一般を背景にした問題認識・抽出能力を有していること、及び課題の社会的、学術的価値を的確に評価できる能力を身に付けたい人。
2. 建築構造工学、建築計画学のいずれかの専門分野における高度な学識を有し、かつ必要に応じて他分野の知見を自ら修得できる能力を身に付けたい人。
3. 建築学・風工学分野における問題解決のために、既往の理論体系との位置づけを明確にした新たな理論を構築する能力を身に付けたい人。
4. 建築学・風工学分野の研究者に求められる問題解決に必要なコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、及び語学力を有する人材を目指す人。
5. 建築学・風工学分野における高度な研究内容に即した適切な倫理観を有する人材となつて、社会で活躍したい人。

(電子情報工学専攻 博士前期課程)

電子情報工学専攻博士前期課程ではメカトロニクス、エレクトロニクス、インフォマティクス、コンピューティングの専門分野において高度な専門知識と実行力をもつ人材の育成を目標とします。本専攻の定める博士前期課程出願資格の要件を満たし、以下の項目を修得したい人を受け入れます。

1. メカトロニクス、エレクトロニクス、インフォマティクス、コンピューティングのいずれかの専門分野に関する高度な専門的知識・技術を身につけ、それらの妥当性を理論的に説明し、議論する能力を身に付けたい人。そのために志願者には電子情報工学（関連分野を含む）の技術分野に関して大卒者に相当する専門知識を有していることが求められ、学力試験、出身大学の調査書、及び面接試験によりこれを確認します。
2. 電子情報工学分野における研究・開発を進めるにあたり、問題点・課題を的確に抽出する能力、及び問題の具体的解決方法を見出す能力を身に付けたい人。そのために志願者には大学の卒業研究、または相当する知識・経験が求められ、面接試験によりこれを確認します。
3. 電子情報工学分野における知識・技術及び問題発見・解決能力を、与えられた状況に応じて、的確に活用・応用できる能力を身に付けたい人。そのために志願者には原著論文を読みこなし、国際会議、欧文誌等で研究成果を発表するための外国語の素養と論理的な思考力が求められ、外国語試験及び面接試験によりこれを確認します。
4. 科学技術を進歩・発展させるための幅広い見識と健全な倫理観を有する人材となつて、社会で活躍したい人。そのために志願者には大卒者に相当する見識と倫理観が求められ、面接試験によりこれを確認します。

(電子情報工学専攻 博士後期課程)

電子情報工学専攻博士後期課程では、システム・応用電子工学、電子材料・プロセス工学、電磁波システム工学、量子システム工学、応用情報システム工学の専門分野において高度な専門知識とその周辺知識を修得し、それらを実社会で自在に活用できる応用力・実行力をもつ人材の育成を目標としています。本専攻の定める博士後期課程出願資格の要件を満たし、以下に示す能力を修得したい人を受け入れます。

1. 電子情報工学分野における社会一般を背景にした問題認識・抽出能力を有していること、及び課題の社会的、学術的価値を的確に評価できる能力を身に付けたい人。
2. システム・応用電子工学、電子材料・プロセス工学、電磁波システム工学、量子システム工学、応用情報システム工学のいずれかの専門分野における高度な学識を有し、かつ必要に応じて他分野の知見を自ら修得できる能力を身に付けたい人。
3. 電子情報工学分野における問題解決のために、既往の理論体系との位置づけを明確にした新たな理論を構築する能力を身に付けたい人。
4. 電子情報工学分野の研究者に求められる問題解決に必要なコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、及び語学力を有する人材を目指す人。
5. 電子情報工学分野における高度な研究内容に即した適切な倫理観を有する人材となつて、社会で活躍したい人。

## 1. 募集する専攻

博士前期課程		博士後期課程	
専攻名	専門分野	専攻名	専門分野
メディア工学専攻	メディア情報 メディアシステム	メディア工学専攻	メディア情報 メディアシステム
工業化学専攻	環境エネルギー化学 有機材料化学	工業化学専攻	環境エネルギー化学 有機材料化学
建築学・風工学専攻	建築構造学 構法・建築史 建築設計計画 建築環境工学	建築学・風工学専攻	建築構造工学 建築計画学
電子情報工学専攻	メカトロニクス エレクトロニクス インフォマティクス コンピューティング	電子情報工学専攻	システム・応用電子工学 電子材料・プロセス工学 電磁波システム工学 量子システム工学 応用情報システム工学

## 2. 募集人員

博士前期課程									↓	↓
専攻	課程	推薦入試Ⅰ期	推薦入試Ⅱ期	一般入試Ⅰ期	一般入試Ⅱ期	一般入試秋季入学	社会人入試Ⅰ期	社会人入試Ⅱ期	社会人入試秋季入学	
		メディア工学専攻	博士前期課程	15名					若干名	
	博士後期課程	2名					若干名			
工業化学専攻	博士前期課程	20名					若干名			
	博士後期課程	2名					若干名			
建築学・風工学専攻	博士前期課程	10名					若干名			
	博士後期課程	5名					若干名			
電子情報工学専攻	博士前期課程	20名					若干名			
	博士後期課程	2名					若干名			

※Ⅰ期・Ⅱ期は2022年4月入学、秋季は2021年9月入学

### 3. 試験日程と試験場

#### (1) 試験日程

試験種別	入学資格審査 申請期間 (必要とする人のみ。 社会人入試は必須)	入学資格審査 結果通知	願書受付期間	試験日	合格発表日
一般入試秋季	5/6 ~ 5/7 (木) ~ (金)	5/18 (火)	5/24 ~ 5/27 (月) ~ (木)	6/12 (土)	6/22 (火)
社会人入試秋季					

※入学手続締切日 7/29 (木)

#### (2) 試験場

東京工芸大学 厚木キャンパス

### 4. 出願の前に

- (1) 出願前に、研究指導を希望する教員に研究内容等について相談（面談・電話・メール等）してください。
- (2) 身体に障がいがあり、受験上の特別な措置や入学後の特別な配慮を必要とする人は、出願前に厚木キャンパス事務部入試課（大学院係）に相談してください。

### 5. 出願資格

博士前期課程	一般入試	以下1～5のいずれかに該当する人 1. 日本の大学を卒業した人 2. 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された人 3. 外国において、学校教育における16年の課程を修了した人 4. 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることとその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した人 5. 本大学院において、大学を卒業した人と同等以上の学力があると認められた人  ※留学生の場合、上記の他、日本語能力試験（JLPT）N2以上に合格している、または過去2年以内の日本留学試験（EJU）の日本語（読解・聴解・聴読解）の得点が240点以上であることが必要です。 ※入学までに1～5の資格を取得する見込みの者を含む。 ※1～4に該当しない場合、本学の入学資格審査を受けてください。
	社会人入試	入学時において就業の有無にかかわらず、研究・教育機関、企業等において2年以上の技術・研究の実務経験を有し、一般入試の出願資格1～5のいずれかに該当する人
博士後期課程	一般入試	以下1～5のいずれかに該当する人 1. 日本において、修士の学位を取得した人 2. 外国において、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された人 3. 日本において、専門職学位を取得した人または、外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学（大学院相当）日本校）を修了し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された人 4. 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された人 5. 本大学院において、修士の学位を有する人と同等以上の学力があると認められた人  ※留学生の場合、上記の他、日本語能力試験（JLPT）N2以上に合格している、または過去2年以内の日本留学試験（EJU）の日本語（読解・聴解・聴読解）の得点が240点以上であることが必要です。 ※入学までに1～5の資格を取得する見込みの者を含む。 ※1～4に該当しない場合、本学の入学資格審査を受けてください。
	社会人入試	入学時において就業の有無にかかわらず、研究・教育機関、企業等において2年以上の技術・研究の実務経験を有し、一般入試の出願資格1～5のいずれかに該当する人

## 6. 入学資格審査

以下に該当する人は、必ず入学資格審査を受けてください。

- ① 社会人入試に出願する人
  - ② 「5. 出願資格」に記載の条件に該当するか不明な人
- 《提出書類》

入学資格審査申請書 (様式2)	必要事項を記入してください。(裏表両面)
志望理由書 (様式3)	本研究科への志望動機、志望する専攻とその理由、入学後の抱負、修了後の計画を簡潔に記入してください。
業績報告書 (様式4)	在職中に行った職務及びその業績等があれば記入してください。関係書類(研究論文、技術報告、実用新案等)がある場合は、その業績を表す文書等(写し)も併せて提出してください。
成績証明書	最終出身学校の成績証明書
卒業(修了)証明書	最終出身学校の卒業(修了)証明書、または卒業(修了)見込証明書
在職証明書	社会人入試に出願する人は提出してください。
その他	卒業研究・課題研究又はこれらと同等の研究報告書等がある場合はその要旨を提出してください。

## 7. 入学検定料 30,000円

各入試区分の出願期間内に、以下の銀行口座へ振り込んでください(手数料はご負担ください)。

<p>【振込先】 三井住友銀行 厚木支店(595) 普通預金 口座番号: 5020440 受取人: 東京工芸大学(トウキョウコウゲイダイガク)</p>
---

注1) 振込人名義は、志願者本人の氏名としてください。また、氏名の前に以下の出願専攻の番号を付けてください。

専攻	課程	専攻番号
メディア工学専攻	博士前期課程	11
	博士後期課程	91
工業化学専攻	博士前期課程	12
	博士後期課程	92
建築学・風工学専攻	博士前期課程	13
	博士後期課程	93
電子情報工学専攻	博士前期課程	14
	博士後期課程	94

例) メディア工学専攻 博士前期課程 へ出願する場合 ⇒ 11 コウゲイ タロウ

注2) 振り込まれた入学検定料は、理由のいかんにかかわらず返金できません。

注3) 出願締切日までに入学検定料の入金が確認できない場合は、受験できません。



## 8. 出願書類

必要事項を記入の上、該当するすべての書類をそろえて、出願期間内に提出してください。

提出書類	備考	前期	後期
志願票 (様式1)	顔写真1枚を貼付し、必要事項を記入してください。	○	○
志望理由書 (様式3)	本研究科への志望動機、志望する専攻とその理由、入学後の抱負修了後の計画を簡潔に記入してください。 ※入学資格審査にて提出済みの場合は再提出不要です。	○	○
成績証明書	以下の(1)または(2)のいずれかの書類 (1) 出身大学等の成績証明書(編入学等により認定された科目がある場合には、編入学前の学校の成績証明書も併せて提出してください) (2) 学位授与機構で出願資格を得た者は、学位取得に係る全ての成績証明書	○	○
卒業(修了)証明書 又は 学位授与証明書	以下の(1)～(3)のいずれかの書類 (1) 出身大学・大学院等の卒業(見込)証明書 (2) 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された人は、学士の学位を授与されたことを証明する書類 (3) 大学改革支援・学位授与機構から学士・修士の学位を授与される見込の人は、学位の授与を申請中であることを証明する書類	○	○
TOEIC 公式認定証 (TOEIC-IPも可)	英語の筆記試験の免除(※)を希望する場合のみ、公式認定証の原本を提出してください。 ※出願時から2年以内のスコアが450点以上あることが条件です。	△	-
業績報告書 (様式4)	在職に行った職務及びその業績等があれば記入してください。関係書類(研究論文、技術報告、実用新案等)がある場合は、その業績を表す文書等(写し)も併せて提出してください。	△	△
就学承諾書 (様式5-1)	在職のまま入学しようとする人は提出してください。	△	△
推薦書・就学承諾書 (様式5-2)	在職のまま入学しようとする人で、所属長の推薦がある人は提出してください。	△	△
研究計画書 (様式7)	研究指導を受ける教員と相談の上、研究計画について記載してください。	—	○
修士学位論文・ 研究概要 (様式8-1)	研究論文概要を2000字以内で記述してください。	—	○
研究経過報告書 (様式8-2)	出願資格2～4の人は提出してください。	—	△
パスポートの コピー	留学生は提出してください。 顔写真・氏名・生年月日・パスポート番号・有効期限が記載されたページをA4サイズの用紙にコピーして提出してください。 ※本学に在学中の学生(研究生除く)は提出する必要はありません。	△	△
日本語能力に関する証明書	留学生は以下の(1)(2)のいずれかの書類を提出してください。 ※本学に在学中の学生(研究生除く)は提出する必要はありません。 (1) 日本語能力試験(JLPT)N2以上 ① 日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書、または ② 日本語能力試験結果通知書・日本語能力認定書のはがき (2) 日本留学試験(EJU)[読解、聴解・聴読解] ① 成績通知書または②成績に関する証明書 ※過去2年以内の日本語(読解、聴解・聴読解)の得点が240点以上であること。	△	△

○：要提出  
△：該当者提出  
—：対象外

## 9. 試験科目及び選考方法

### (1) 選考方法について

選考は筆記試験（各 100 点）と口述試験（4 段階評価）を総合して行います。

### (2) 試験科目について

#### ○一般入試

課程	時間	科目	備考	
博士前期	10:00 ～ 11:00	外国語 (英語)	辞書持ち込み可。ただし電子辞書は不可	
	11:30 ～ 13:00	専門科目	出題範囲	
			メディア工学 専攻	専門分野ごとに出題されるので、自己の専攻分野から決められた問題数を選択して解答する。
			工業化学専攻	各専門分野の基礎となる〔物理化学、無機化学、有機化学〕から各2題出題する。その中から、3題選択し解答する（電卓持込み可）。
建築学・風工学専攻	各専門分野〔建築構造学、構法・建築史、建築設計計画、建築環境工学〕から各2題出題する。専攻する専門分野の問題2題とその他の分野から2題を選択、計4題解答する（電卓持込み可）。			
		電子情報工学 専攻	各専門分野「電気数学、電磁気学、電気回路、情報数学、論理回路、情報処理、プログラミング」から出題する。専攻する専門分野が、[メカトロニクス、エレクトロニクス]の場合は、「電気数学、電磁気学、電気回路、プログラミング」の4分野から3分野の問題を、[インフォマティクス、コンピューティング]の場合は、「情報数学、論理回路、情報処理、プログラミング」の4分野から3分野の問題を選択して解答する。	
	14:00 ～	口述試験	(1) 志望する分野に関連した項目について行います。 (2) 提出した志望理由書、業績報告書等について行います。 (3) 留学生については日本語能力について審査することがあります。	
博士後期	11:00 ～ 13:00	外国語 (英語)	辞書持ち込み可。但し電子辞書は不可	
	14:00 ～	口述試験	(1) 研究分野に関連した専門的学力、業績報告書等について行います。 (2) 留学生については、日本語能力についても審査することがあります。	

\*1 TOEIC のスコアは、以下の式に基づき、外国語（英語）の点数に換算されます。

【換算式】(TOEIC スコア - 450) × 0.18 + 60

#### ○社会人入試

課程	時間	科目	備考
博士前期	14:00 ～	口述試験	(1) 志望する分野に関連した項目について行います。 (2) 提出した志望理由書、業績報告書等について行います。 (3) 留学生については日本語能力について審査することがあります。
博士後期			(1) 研究分野に関連した専門的学力、業績報告書等について行います。 (2) 留学生については、日本語能力についても審査することがあります。

### (3) その他

- 試験時間については、事前に通知して変更することがあります。
- 過去の筆記試験問題は閲覧することが可能です。厚木キャンパス事務部入試課（大学院係）に身分証明書（学生証、免許証等）を提示し、閲覧を申し出てください。

## 10. 合格発表

合格者には、合格発表日に合格通知を郵送します（当日に発送するため、地域によっては数日かかることがありますので、あらかじめご了承ください）。

合否に関する電話等でのお問い合わせには、お答えできません。

## 11. 学費及び諸会費（円）

区 分	1 年次		2 年次以降	
	入学時	翌年4月	9月	4月
入 学 金	200,000	—	—	—
授 業 料	290,000	290,000	290,000	290,000
実 験 実 習 費	75,000	75,000	75,000	75,000
施 設 設 備 費	125,000	125,000	125,000	125,000
後 援 会 費	9,000	9,000	9,000	9,000
合 計	699,000	499,000	499,000	499,000
1 年 間 の 学 費	1,198,000		998,000	

※ 本学卒業生は入学金が免除されます。

## 12. 注意事項

- (1) 出願書類に不備がある場合には受理できないことがありますので、十分注意してください。
- (2) 出願書類は返却できません。
- (3) 郵送する場合は、入学資格審査書類の提出及び出願共に必ず「簡易書留」にて郵送してください（願書受付期間最終日消印有効）。
- (4) 出願手続終了後の提出書類等の内容変更は認められません。
- (5) 受験の際には、必ず受験票を持参してください。

## 13. 出願書類提出・問い合わせ先

出願書類提出・問い合わせ先	東京工芸大学 厚木キャンパス事務部 入試課（大学院係） 〒243-0297 神奈川県厚木市飯山 1583 TEL：046-242-9520（直通）
窓口受付時間	9:00～17:00（月～金 ※祝日を除く）
交通案内	○小田急小田原線「本厚木駅」下車 ○神奈川中央交通バス・厚木バスセンター7番バス乗場から、『東京工芸大学』行バスに乗り終点下車 ○バス所要時間は約20分ですが、道路事情により異なりますので、余裕を持ってお越しください。 ○本学ホームページ「交通案内」 <a href="https://www.t-kougei.ac.jp/guide/campus/">https://www.t-kougei.ac.jp/guide/campus/</a>

## 入学選抜によって取得した個人情報の取扱いについて

入学者選抜において、本学が取得した個人情報は、以下の目的に利用し、これら以外の目的に使用することは一切ありません。

- (1) 入学者選抜（出願処理・試験実施）
- (2) 合格発表
- (3) 入学手続
- (4) 合格者・入学予定者を対象とした各種書類・案内等の送付
- (5) 入学後の学籍管理等の業務
- (6) 各種統計資料の作成

# 東京工芸大学大学院 工学研究科

---

東京工芸大学 厚木キャンパス事務部 入試課（大学院係）

〒243-0297 神奈川県厚木市飯山 1583

T E L : 046-242-9520(直通)      F A X : 046-242-9638

E-mail : [admission.atsugi@office.t-kougei.ac.jp](mailto:admission.atsugi@office.t-kougei.ac.jp)

---